■公共図書館での実践事例

マルチメディアDAISY図書設置について

大阪府摂津市民図書館
桒田（くわた） 智代

体験会の実施

マルチメディアDAISY図書については、まだまだ存在そのものをご存じない方が多いと思います。摂津市民図書館では障害者サービス利用者の方だけでなく、一般のお客様についても図書館で所蔵したことをお知らせするために、体験会を実施しました。

体験会には、親子連れの姿や市内の小学校の支援学級の先生、自治体の障害福祉課の職員とボランティアの参加がありました。実際にご覧いただいた後に、発達障害や学習障害の方への効果や各地の取り組みの報告を行いました。最後は実際に参加者の方に操作していただき体験会を終了しました。

参加者からは、障害者サービスの対象が発達障害や学習障害にも広がっていることを初めて知ったことや、マルチメディアDAISY図書をはじめとした新しいサービスの提供について今後ますます取り組んでほしいとのお声をいただきました。今回参加できなかった方やより多くの方にマルチメディアDAISY図書のことを知っていただくためにも、さまざまな媒体を使って引き続き広報を行っていきたいと思います。

今後の取り組みについて

今後の取り組みとして、市内の小中学校の養護学級や支援学校にお声をかけ、学校単位の取り組みや当事者の方の感想などをお聞きする機会を増やしていきたいと考えています。

従来の障害者サービスは、大人を対象にしたものになりがちでしたが、マルチメディアDAISY図書では子ども向けのものが多くみられ、新たなサービス提供が可能になります。一般のお客様を巻き込みアプローチすることが、ポイントだと思います。

現在は、障害者サービス利用者数増加の頭打ちや、利用者の高齢化に伴う貸出数減少と課題を抱えています。マルチメディアDAISY図書の提供をきっかけに、新たなサービスの拡大と利用者の拡大へとつなげていきます。

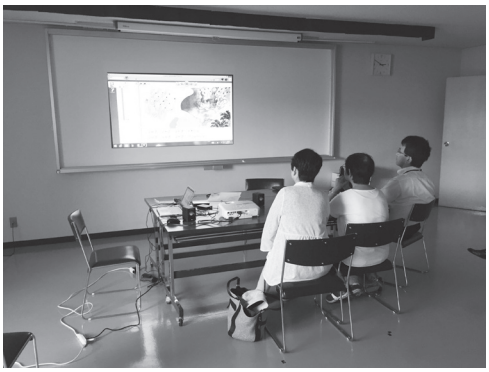

写真 1

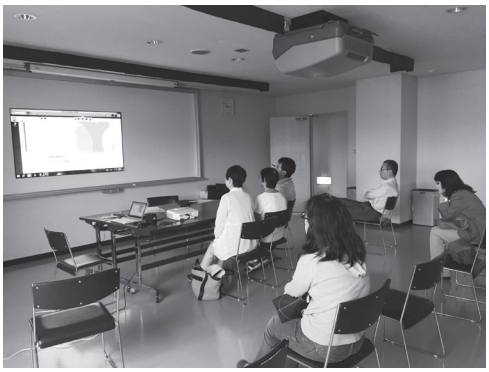

写真 2